

スポーツの楽しさとは
挫折やプレッシャーの先にあるスポーツの醍醐味

今月のChallengerは、郡山北工業高等学校（以下、北工）ソフトボール（以下、ソフト）部で活躍する名古屋隆之介さんと加藤徳馬さん。北工は、これまで夏のインターハイ（全日本高等学校男子ソフト選手権大会）や春の選抜大会（全国高等学校男子ソフト選抜大会）などに出場する男子ソフトの強豪校です。

昨年5月のたむら市政だよりでも紹介した同校ですが、同郷の引退した先輩方の思いや伝統を引き継ぎ、次大会に向けて練習に励んでいます。5月の新緑のようにさわやかなお二人に、入部してからのことや今後の目標について伺いました。

郡山北工への進学

名古屋…工業の勉強がたくくて北工へ進学しました。部活動はソフトか野球で迷っていましたが、より実績のあるソフト部に入学を決めました。入部前は全国大会常連校でもあるし、部員同士バチバチな環境かと思っていましたが、実際にはみんな仲が良く楽しくソフトができていいなと思いました。

加藤…1学年上の先輩である吉田陽平さん※が北工でソフトをやっている「来てみなよ」と声をかけてもらいました。中3の時にアカデミーに参加し、北工への進学とソフト部への入部を決めました。あ

とは、坊主が嫌だったのでソフト部にしたという理由もあります（笑）。実際に入部してみると、休みが少なく大変だと感じますが、休みがなくてやはり大会では勝ちたい。勝つためには練習しかないで頑張っています。

※…吉田陽平さん
北工ソフト部OB、都路町出身。Challenger Vol.6(2022年5月号)に掲載。

入部してからの
気づきや学び

名古屋…新チームとなり挑んだ春の選抜大会前は、打てない期間が長く続きました。練習でも遠征でもほぼノーヒット

トで。試合の途中で変えられたりすることも多く、心が折れそうになりましたが、自主練習や居残り練習をして、少しずつ調子を上げていきました。打てなかった原因は、大森先生やチームメイトからの指摘もあって改めて気づけました。その時期は今までの中でもどん底だったので、言われたことは全部受け入れよ

う、吸収しようと思ってやってきました。チームには、自分の弱い部分も見せられるようになったと思います。他人に頼ることの大切さを学びました。

加藤…小中学校では人数が少ない学校にいたので、試合には絶対に出られるという環境でした。北工に来てからはそうはいかず、先輩・同級生は



挑戦者 第16回
目指すはインターハイ4強
郡山北工の新たな歴史を築く

ソフトボールを続ける原動力

もちろんですが、後輩も上手いので、「後輩から抜かされるかもしれない」というプレッシャーが強くあり、それ乗り越えなければいけないと思っています。先輩としてレギュラーを守ることは、チームとしても必要なことだと思っていますので、レギュラーは渡さないという気持ちで練習していきたい。そのために実業団の試合で、選手のプレーを見て学んでいます。

名古屋…楽しいから続けられていると思います。チームメイトや練習の雰囲気が良いから部活に行きたいと思います。休日はチームメイトに会えないし、少し寂しさを感じます（笑）。

加藤…目標があること。それに向かってやらなければならぬことがある。目標を達成するために、練習しようと思えることが原動力です。



Profile

- 生まれ/2005年6月30日、滝根町
- サイズ & 投打/179cm、67kg、右投左打
- 球歴/祖父に憧れて小4から滝根ソフトボールスポーツ少年団でソフトボールを始める。滝根中時、軟式野球部。北工では2年秋からレギュラー、中堅手。2年秋から副主将。
- 強み/足の速さ 弱み/ミート力が低い
- 尊敬する人物/上石晃弥（北工ソフト部同級生）ケガ明けでも打てるから。
- 憧れのスポーツ選手/イチロー：長い間活躍し続けていた。身体のケアなど意識が高いから。
- 趣味/漫画を読む
- 好きな食べ物/ラーメン
- 将来の夢/安定した生活
- 座右の銘/習慣は第二の天性なり

Ryunosuke Nagoya
名古屋 隆之介
郡山北工業高等学校3年



Profile

- 生まれ/2005年12月19日、都路町
- サイズ & 投打/173cm、70kg、右投右打
- 球歴/家族全員がソフトボールをやっていた影響で小2から古道スポーツ少年団でソフトボールを始める。都路中時、軟式野球部。北工では1年秋からレギュラー、遊撃手。2年秋から副主将。
- 強み/長打を打てる 弱み/判断が悪い
- 尊敬する人物/吉田陽平：何事にもすべて自分の上にいるから
- 憧れのスポーツ選手/今宮健太：守備やバッティングでの迫力がすごいから
- 趣味/お昼寝
- 好きな食べ物/いちご
- 将来の夢/機械関係の仕事に就くこと
- 座右の銘/雨垂れ石を穿つ

Toma Kato
加藤 徳馬
郡山北工業高等学校3年

最後の夏の大会に向けて、
応援してくれる方々へ

名古屋…チームとしてはインターハイで全国ベスト4以上が目標です。個人としては、4番を打っているの、プライドを持って、チームの中心で活躍できるように頑張ります。また、自分たちのプレーで地域を盛り上げられるように、家族や周りの人たちが自慢できるような結果を残したい。スポーツをやる人や部活動も少なくなっている。自分たちの活躍を見て「スポーツをやりたい」と思う人が増えるといいと思います。



大森 史仁 監督

2人の印象、
期待するところ

（名古屋）隆之介は、すごく真面目で、調子が悪くなってもそれをどう修正するか少し時間はかかるが、絶対に結果を残すような練習をする選手。クリンナップを打つ打順なので、ランナーをどんなことでもかえすという強い気持ちを持ったバッターになってほしい。

（加藤）徳馬は、良い意味で最初の印象から変わらない。パワーがあり、素直で言われたことがちゃんとできる選手。今のポジションをどう守っていくか、打率をどう上げていくか、自分で考えて行動しているように感じる。先輩として最後まで戦える力をもって励んでほしい。試合の時、その場の状況に立って考えた時に、人としてどうするのがベストなのか常に考えて行動してほしいと思っています。

加藤…まずは全国大会での一勝を目指して練習していきます。個人では、ショートは守備の要なので、引退するまで



6



28